記者発表資料

平成２２年１２月９日
米代川水系水質汚濁対策連絡協議会
事務局　国土交通省東北地方整備局
能代河川国道事務所

# 油の流出事故が増える季節です。
## ～油類の取扱いにご注意下さい～

寒さが厳しくなってきました。

これから家庭や事業所で暖房用燃料として灯油や重油等の取扱いが増えると同時に、油の流出に起因した水質事故が増える傾向にあります。

（過去５年の１～３月通報件数は７８件、全体件数２０８件の約４割）

今年も米代川流域で１１月に５件の水質事故通報があり原因物質は全て油類、事故原因が判明した２件は**『タンクからの小分け中にその場を離れた・コックを閉め忘れた』の人的ミス**でした。又、１２月に入り現在（12月8日）まで３件の事故通報が入ってます。

水質事故が発生すると、上水道の取水停止など住民生活に大きな影響を及ぼし、又、**事故処理に要するオイルフェンスやマット等の費用は原因者負担**が原則であり、その規模によっては莫大な費用が請求されます。

水質事故を未然に防ぐため、油類の取扱に注意し機器の定期点検や落雪対策等を心がけて下さい。

万が一事故を起こした、発見した際は、直ちにお近くの国や県の期間、市町村役場、消防署等へ連絡願います。迅速な対応が被害の拡大を防ぎます。

### １．事故処理費用は原因者負担です。

・ｵｲﾙﾌｪﾝｽや吸着ﾏｯﾄ、人件費等の事故処理に要した費用が請求されます（数万～数十万円）

### ２．油流出事故を防ぐための心がけ

**１）定期点検を怠らない（油類を使用しない季節も気を緩めずに）**

・配管やﾎｰﾑﾀﾝｸの定期点検を実施しましょう
・ﾎｰﾑﾀﾝｸの残量を常に確認しましょう
・給油コックや水抜きバルブの締め付けは確実に行いましょう

**２）その場を離れない、目を離さない**

・給油中やﾎｰﾑﾀﾝｸからの小分け中は、絶対にその場を離れないようにしましょう

**３）落雪対策をきちんと行う**

・配管の位置を把握し、屋根からの落雪の危険がある箇所には雪囲いをしましょう。

### ３．万が一、油事故を起こしてしまったら。

**・すぐに市町村窓口や消防、警察、県や国の機関に連絡しましょう。**

・早期の対応が事故の被害軽減に繋がり、処理費用も抑えられます。

参考　水質事故の主な原因は灯油など油類の流出が９割以上を占め、原因別では事故原因が判明した約半数以上が機器の操作ミスや管理不備など人的ミスによるものとなっています。
（事例：ﾎｰﾑﾀﾝｸのﾊﾞﾙﾌﾞの破損（経年劣化）、ﾎﾟﾘﾀﾝｸへ給油中（小分け）にその場を離れ流出等）

《記者発表先》
・能代市記者クラブ
・大館市記者クラブ
・北秋田市記者クラブ

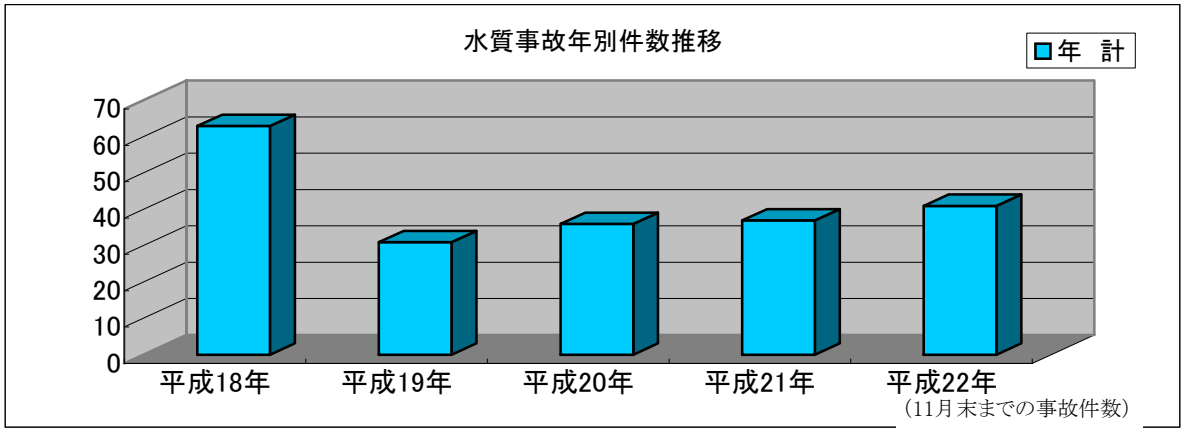
問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局　能代河川国道事務所
電話（代表）０１８５－７０－１００１
副所長　武田　節朗（内線２０４）
河川管理課長　泉谷　敏広（内線３３１）

参考

# 平成22年度　米代川水系水質事故発生（通報）状況（H22.11.30現在）

## 1. 月別事故発生（通報）件数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 14 | 7 | 8 | 3 | 6 | 3 | 7 | 6 | 1 | 2 | 3 | 3 | 63 |
| 平成19年 | 2 | 2 | 8 | 3 | 1 | 3 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 5 | 31 |
| 平成20年 | 4 | 6 | 7 | 5 | 3 | 1 | 4 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 36 |
| 平成21年 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 9 | 3 | 6 | 2 | 1 | 2 | 4 | 37 |
| 平成22年 | 1 | 6 | 6 | 3 | 5 | 4 | 4 | 4 | 2 | 1 | 5 | | 41 |
| 計 | 23 | 24 | 31 | 15 | 17 | 20 | 18 | 21 | 7 | 5 | 14 | 13 | 208 |

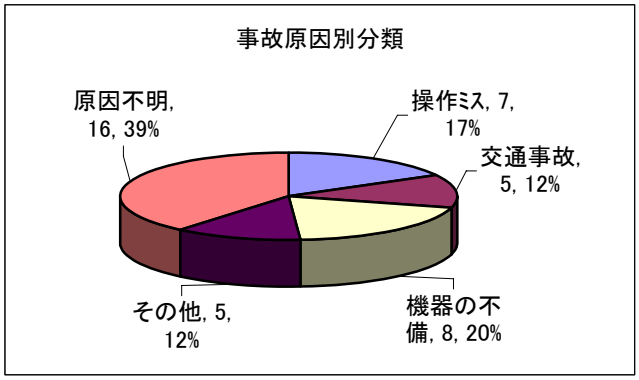


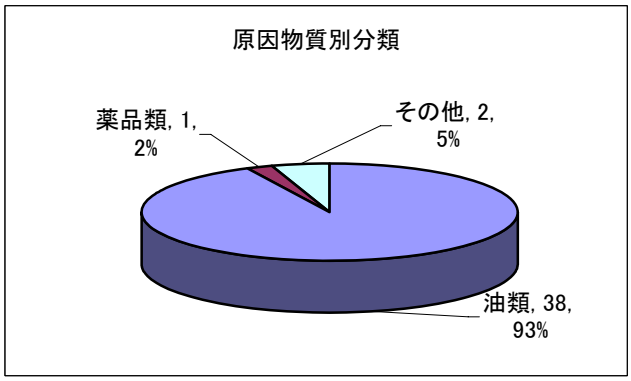

## 2. 原因別事故発生件数

| | 操作ﾐｽ | 交通事故 | 機器の不備 | 不法投棄 | その他 | 原因不明 | 全体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 7 | 4 | 12 | 1 | 16 | 23 | 63 |
| 平成19年 | 7 | 6 | 8 | 2 | 0 | 8 | 31 |
| 平成20年 | 7 | 12 | 11 | 0 | 2 | 4 | 36 |
| 平成21年 | 7 | 10 | 9 | 1 | 2 | 8 | 37 |
| 平成22年 | 7 | 5 | 8 | 0 | 5 | 16 | 41 |
| 計 | 35 | 37 | 48 | 4 | 25 | 59 | 208 |

## 3. 原因物質別事故発生件数

| | 油類 | 薬品類 | 魚のへい死 | その他 | 全体 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 56 | 1 | 4 | 2 | 63 |
| 平成19年 | 29 | 0 | 0 | 2 | 31 |
| 平成20年 | 36 | 0 | 0 | 0 | 36 |
| 平成21年 | 35 | 0 | 0 | 2 | 37 |
| 平成22年 | 38 | 1 | 0 | 2 | 41 |
| 計 | 194 | 2 | 4 | 8 | 208 |



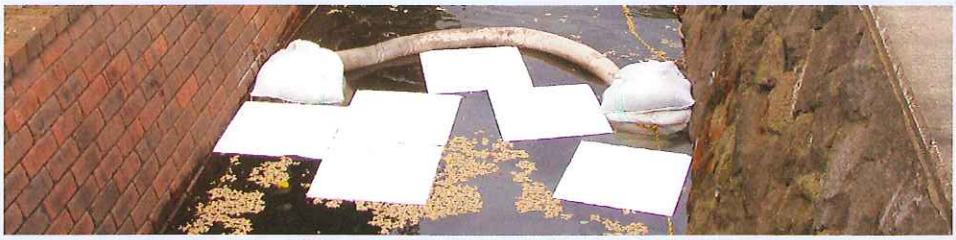



# 水質事故
# 早期発見
# 早期対応

関係機関による水質事故対応訓練状況（H21.9.29　小坂町）



▲可搬式オイルフェンスによる油流出防止



▲油吸着形オイルフェンス、マットによる回収



▲土のうによる簡易油分離施設

## 処理費用は原因者負担

**油流出事故を起こした場合、発見した場合は、お近くの国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署へご連絡ください。**

米代川水系水質汚濁対策連絡協議会
事務局／国土交通省　能代河川国道事務所　河川管理課　TEL 0185－70－1001

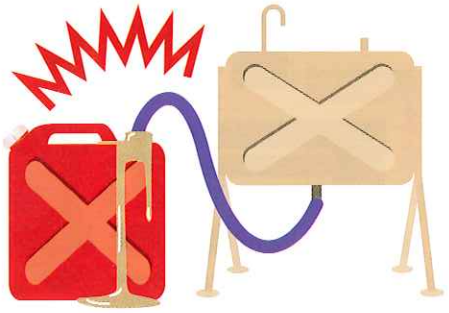
# 水質事故の多くは油流出事故!
# 原因の大半は“不注意”

## 家庭で

事故事例：ホームタンクから小分け中に現場を離れ、灯油200ℓが河川に流出。
水道が取水停止となり、原因者に**被害額が請求**された。

### 給油の時そばを離れない

最近は電動式の給油ポンプが多く使われています。自動的に停止する装置がついていても目を離したすきにポンプが傾いたりして、あふれてしまうことがあります。あふれた灯油は火災をおこす危険があり、また川に流出して汚染の原因となります。給油が終わるまでは、決して目を離さないようにしましょう。
また、**ホームタンクや配管の定期点検を実施しましょう。**



## 事業所で

事故事例：事業所敷地内の油分離槽に雨水が入り込み廃油が流出。
老朽化した暖房用燃料配管に亀裂が入り灯油が流出。

### バルブ等の操作ミス

クリーニング店・乳業店・コンクリート工場・食品工業・酒蔵工場・建設会社・工事現場・ホテルなど主な機械系統の故障、バルブ等の操作ミス。




### 工場・事業所での操作上のミスや管理の不徹底

消防法では、危険物施設の区分毎に定期点検の時期や内容が定められています。法令で定められた定期点検を確実に行うのはもちろんですが、事故を防ぐためには毎日の作業の中に点検が組み入れられ、それが日常化する事が大切です。

### 点検を日常化しましょう

- **いつ**　始業前・終業後には、毎日必ず点検をします。
- **どこを**　危険物を貯蔵したり、取り扱ったりする設備は特に重点的に点検します。
- **だれが**　資格を持った危険物取扱者が点検しなければなりません。
- **どのように**　法令に定められた点検方法に準じ、また必要と思われる時には随時点検します。
- **どうするか**　定期点検に準じて結果を記録します。異常を感じた場合はただちに必要な処置をします。



#### 廃油の管理

自動車工場、廃車置き場など

《事例》
工場の操作上のミスや管理の不徹底による油の流出。




#### 油水分離槽の管理

ガソリンスタンドなど

《事例》
分離槽の日常管理をしないために油が排水溝に流れた。




#### 冷暖房用の燃料管理

ホテル・工場・学校・会社

《事例》
地下燃料タンクやその配管の老朽化による油もれ。